

末広まちづくり推進協議会 会議録 令和4年度第3回

会議概要	
日時	令和5年3月27日（月曜日）午後6時00分から午後7時00分まで
場所	末広公民館 2階 講堂
出席者	委員（14名、正副会長以外は50音順） 高田会長，今村副会長，泉川委員，上原委員，小笠原委員，加藤委員， 柴田委員，菅沼委員，田畑委員，早川委員，前川委員，村田委員，柳澤委員， 渡瀬委員 （欠席者 中山委員） 事務局 地域まちづくり課 成田課長，谷口補佐，浅沼 末広公民館 山崎館長
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第 資料1 末広まちづくり推進プログラム改訂案

議事の内容

1 開会

事務局から，資料について確認があった。

2 末広地域のまちづくりの検討と推進について

末広地域で実施している各種事業について，次のとおりそれぞれの実行組織から報告があり，内容について確認した。

ア 未広地域交通安全対策事業

未広まちづくり実行委員会の高田会長から、交通安全対策事業の実施状況について報告を受けた。

- ・9月の秋の交通安全運動に合わせた街頭啓発活動及び交通安全のぼり旗の掲示に加え、未広地域の小中学校始業式前後の期間にあわせて交通安全のぼり旗の掲示を行った。

イ 未広地域活動団体 PR 事業

未広まちづくり実行委員会の高田会長から、活動団体 PR 事業の実施状況について報告を受けた。

- ・第10号が3月に発行。
- ・未広地域の小中学校で配布するほか、町内会で回覧を予定している。原稿依頼を行っているが、各団体のご協力があり、スムーズに発行できている。
- ・来年度も各団体への原稿依頼があった際はご協力いただきたい。

ウ 未広ふれあいスポーツクラブ子どもの居場所づくり事業

未広ふれあいスポーツクラブ会長の村田委員から、子どもの居場所づくり事業の実施状況について報告を受けた。

- ・毎月2回、第2、第4金曜日に学習支援とスポーツ活動を実施しており、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止することもあったが、延べ17回、195名の子どもたちが参加した。
- ・補助金とは別の取組ではあるが、あつま〜るとの合同企画（運動会）の催しは当初11月の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期とし、2月12日に改めて開催した。計85名の親子に参加いただき、大変賑わった。
- ・スタッフの高齢化により、スポーツ活動で子どもについていけないところがあるのが課題。

エ 未広見守りネットワーク担い手連携事業

未広見守りネットワーク実行委員会会長の小笠原委員から、未広見守りネットワーク担い手連携事業の実施状況について報告を受けた。

- ・未広地区センターで2月26日13時から、見守り活動の担い手を対象とした研修を開催した。当日の参加者は33名。
- ・研修は未広地域で高齢者の見守り活動を実施している様々な団体の連携を高め、見守り活動の担い手と門職等による、学習・情報共有、意見交換の機会を提供することを目的に、「見守る・見守られる双方の関係構築に向けて」と題したオンライン講演と、短い時間ではあったが、参加者同士のグループワークを行った。

- ・研修は概ね好評であったが、そもそも末広見守りネットワーク実行委員会の知名度が高くない、また、見守り活動を行っている各団体との兼ね合いもあり、知名度向上と横のつながりが今後の課題である。

(委員の発言)

- ・見守られる人の対象年齢はいくつからか。
- (会長から) 避難行動要支援者名簿に掲載がある、65 歳以上の方を対象としている。

オ しらさぎ町内会除雪サポーター事業

しらさぎ町内会除雪サポーター委員会の柴田委員から、除雪サポーター事業の実施状況について報告を受けた。

- ・今回は 15 名の利用者に対し、17 名のボランティアが除雪支援を行った。
- ・ボランティアは 50 代から 80 代までで、利用者の最高齢は 90 代。
- ・12 月にはテレビ局からの取材があり、取材当日の夜に放送された。

3 末広まちづくり推進プログラムの改訂

事務局から、末広まちづくり推進プログラムの改訂について、資料 1 に従って説明があった。委員からは次のとおり意見があった。

- ・3 ページ上段、「末広地区見守り研修の実施」の実施主体にある、「生活支援コーディネーター」は、令和 4 年度から「地域まるごと支援員」になっているため、修正をお願いしたい。

事務局から、委員の発言のとおり修正する旨の説明があった。

4 その他

事務局から、次の点について説明があった。

- ・次回日程は 5 月頃を想定しているが、改めて日程調整を行いたい。

5 閉会